

公園でのボールの使用について



第一中学校(2年)板野頌大

【質問】公園のまわりに柵を作って、ボールを使うようにしてほしいです。安全面を考慮するあまり、ボールを使える公園がほとんどありません。このままでは、子どもなどの若者の運動不足などが恒常化してしまうのではないのでしょうか。ボールが使える公園が増えたら、地域の活性化にもつながるのではないのでしょうか。

【回答】市では、平成27年度に子どものボール遊びができる公園として、西郷通3丁目広場を整備しました。今後も広さや周辺状況などの立地条件等を検証した上で、ボール遊びができる公園も含めた、魅力ある公園整備に取り組んでまいります。

環境問題について



梶中学校(2年)内野愛

【質問】野良猫が公園や駐車場を住みかになり、学校へ侵入してしまふことが多発しています。駐車場を住みかにするに車にひかれ、死んでしまう可能性があります。学校へ侵入すると、校庭にフンをしたり、小学校などで飼育している小動物に危害を加えることがあります。

【回答】これらのことから、野良猫の保護を検討してはいかがでしょうか。

【質問】本市では、野良猫の保護は行っていませんが、野良猫の数を増やさないために、猫の不妊・去勢手術費用の補助を行っています。また、野良猫への餌やりの禁止や飼猫の適正な飼育など、市民の皆さんに動物に関する正しい知識を持っていただくための普及啓発活動を行っています。



- 令和元年度守口子ども議会 参加生徒
- 【第一中学校】板野頌大(2年)・廣畑涼一(2年)
 - 【庭窪中学校】遠藤希美(2年)・竹内一遥(2年)
 - 【八雲中学校】亀田日向歩(2年)・米井優芽(1年)
 - 【梶中学校】内野愛(2年)・宅間菜央(2年)
 - 【大久保中学校】原口聡基(2年)・天満悠晴(2年)
 - 【錦中学校】川西さくら(2年)・高瀬凜(1年)
 - 【樟風中学校】勇奏太(2年)・大橋美空(2年)
 - 【さつき学園】山本柊輔(8年)・福山西(8年)

12月1日「守口子ども議会」(守口ロータリークラブ主催)が開催されました。

「守口子ども議会」は、守口ロータリークラブが主催となり、時代を担う子どもたちに市政、市議会の仕組みや概要を知ってもらい、市政への関心、理解を深めてもらうことを目的に毎年開催しています。

今年も子どもたちが市議会の模擬体験を通じて、市の将来や現状の課題について自主的に考え、意見を表明することにより、社会の一員としての責任と自覚を培う場となりました。

市内全中学校および義務教育学校(8校)から各2人、計16人が子ども議員として出席し、市議会同様に議長、副議長、質問者、意見発表者の4つの役割に分かれ、模擬議会が開かれました。



守口ロータリークラブ会長 正木一光



八雲中学校(1年)米井優芽

【意見】小さい子どもや小学生が、家の前の狭い場所や危険な場所、遊んだらいけない場所で遊んでいる現状があります。そこで、保護者や地域の人々に呼びかけたり、看板を作成するなどして、事故やトラブルがないような対策を要望します。



錦中学校(2年)川西さくら

【意見】最近、本屋さんが増えてきていると感じます。大きなショッピングモールの中にはあるものの、本屋さんのみで建っているところは減ってきていると思います。反対に、小説などの文庫本を置いたコンビニエンスストアを見ることも増えました。最近よく、



子ども副議長 第一中学校(2年)廣畑涼一



開会を宣告する子ども議長 さつき学園(8年)福山西

議長・副議長役の子ども議員は議事の進行を交互に行い、質問役および意見発表者役の子ども議員は自分たちの身の回りや将来のことなどを考え、子どもの視点から市へ質問や意見を出しました。

この日の質問や意見の一部(要旨抜粋)を紹介します。

「本離れ」という言葉を耳にするほど本が読まれなくなっているため、本屋さんをもっと増やして守口市民が人と本からいろいろな考え方や、世の中のことを知れるために、守口市に多くの本屋さんが設立されることを要望します。

子ども議員たちは緊張した様子でしたが、与えられた役割を果たし、堂々と質問や意見を述べ、その姿に集まった人々から大きな拍手が上がっていました。

